

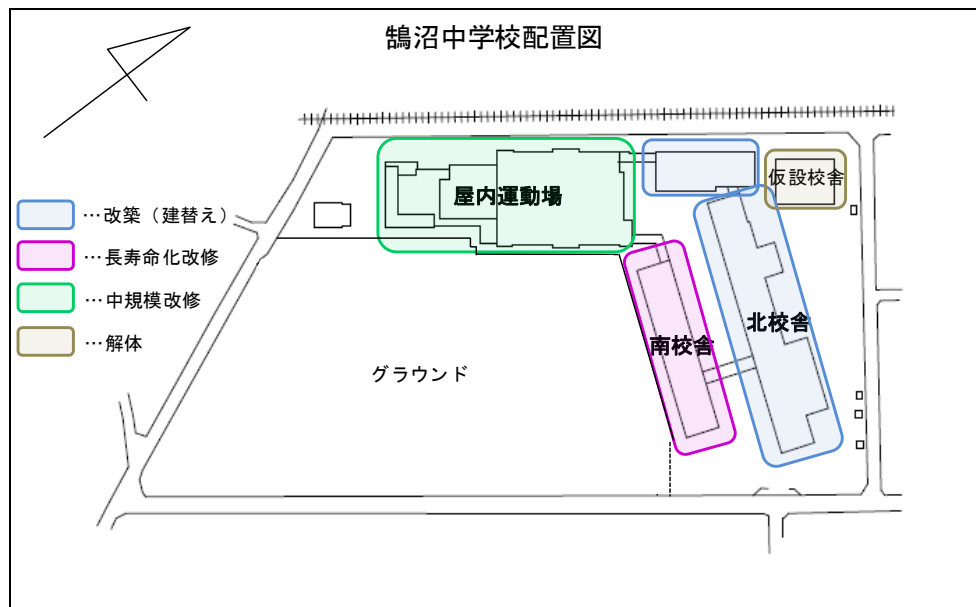
鵜沼中学校改築事業に係る基本設計の進捗状況について

鵜沼中学校は、第3次藤沢市公共施設再整備プラン及び藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画（以下「実施計画」という。）に基づき、老朽化の解消、安全性の確保、教育環境の機能向上を図るため、施設全体の再整備事業の実施に向けて、令和4年度から令和6年度の3か年の予定で基本実施設計業務を行っています。

実施計画では、表に記載の整備手法で再整備する案としていますが、現在実施中の基本設計業務において、建物の劣化状況等に関する調査（以下「劣化状況調査」という。）を行い、その結果を基に、整備手法を決定することとしています。

（表）実施計画における整備手法

建物	整備手法	理由
北校舎	改築（建替え）	建築後50年以上経過し、老朽化が進行
南校舎	長寿命化改修 （既存改修）	建築後40年程度で比較的築年数が浅いため、建物補強も含めた機能向上を図る
屋内運動場	中規模改修 （既存改修）	建築後30年程度で築年数が浅いため、各種設備機器等の機能回復を図る



今回は、基本設計業務において、これまでに判明した劣化状況調査の結果について、報告するものです。

1 劣化状況調査の結果について

既存建物の改修を予定している南校舎及び屋内運動場について、劣化状況調査を実施した結果、両建物ともに、柱、梁、床などの構造体の一部にコンクリートの劣化や鉄筋の発錆等を確認しており、一部、鉄筋のかぶり厚が不足している箇所も確認しています。

この調査から、当初の想定よりもコンクリートの劣化が進んでいることが判明したため、構造体のうち、室内や地中にある基礎も含めた追加調査が必要な状況となっています。なお、追加調査については、今後の整備手法の変更も視野に、改修及び補強方法の検討に必要な調査内容を十分に精査するとともに、学校運営への影響を考慮し行います。

2 追加調査の結果、想定される影響

- (1) 整備手法の再検討
- (2) 基本実施設計の工期の延長及び予算措置
- (3) 想定事業費の見直し
- (4) 工事を含めた再整備事業全体スケジュールの見直し

3 今後のスケジュール（予定）

令和5年	7月～10月	追加調査の実施
	8月～9月	学校関係者及び地域住民等との意見交換
	12月	整備方針候補案及び追加調査結果市議会定例会報告
令和6年	1月	地域住民等を対象に基本設計内容中間説明会の実施
	2月	基本実施設計業務の補正予算措置

以上

(事務担当 教育部 学校施設課)